

令和5年度
学校だより No.2

北山っ子

茅野市立北山小学校
令和5年5月1日(月)
校長 宮坂 哲生

新学期が始まり1月が経ちました。1年生の子ども達は、給食、清掃、教室での学習など、できることを1つずつ増やしています。各園で培われた力が、小学校でも発揮されています。ただ、1年生に限らず、どの子どもも、多かれ少なかれ気を張って過ごした4月だったと思います。明日からの連休で、心と身体を休めてくれればと思います。

また、先日の家庭訪問では、お子さんの様子等お伝えいただき、ありがとうございました。これからの指導に活かしていきます。今後も、お気づきの点がありましたら、お知らせください。

お兄さんお姉さん、やさしいね(1年生をむかえる会)



2年生から5年生が、掃除の仕方や下駄箱の使い方など、毎日の生活で大切にすることを、1年生に伝えてくれました。一方的に伝えるのではなく、良い例と悪い例を示して1年生が考える場を作ったり、クイズ形式にしたり、映像を用いたり、生活場面を演じて見せたり、様々な工夫が見られました。この日のために、各教室で、「こうした方が1年生にもっと伝わるよ」と考え合う

姿がたくさん見られました。やさしいお兄さんお姉さんです。

そして6年生は、ペアの1年生にプレゼントを渡すと、腰を下ろして視線を下げ、やさしく、楽しく語りかけます。緊張気味の1年生の表情も、次第にほころんでいきます。相手を思う気持ちの詰まった、あたたかな会となりました。



落ち着いた行動ができました



4月13日に、第1回目の避難訓練を行いました。

国語や算数など教室での勉強は、間違えてもいいですが、避難はそうはいきません。けがをしてみたり、万が一命を落としてしまったりしたら、もう次はありません。

今回の訓練でとても良かったのは、全員が落ち着いて避難していたことです。自分の命を自分で守るうえで、とても大事なことができていました。

今回は、教室などから"クラス皆で整列して"避難しました。しかし、地震や火事はいつでも起きるかわかりません。今回の訓練のように、すみやかに、落ち着いて行動できるよう、今後も様々な想定 of 訓練において子ども達と確認していきます。

その心配りがいいね

4月17日に、集団下校訓練を行いました。子ども達は児童玄関前に地区ごと整列します。すると、ある地区の後ろの方がざわざわしています。自分たちの並ぶ列の前方が詰まっています、あとから来る1年生の入る余地がないことを心配し、相談しています。“班長に任せればいいや”ではなく、“先生が何とかするだろう”でもなく、高学年児童が自分事として捉えています。下の学年の子に「後ろに下がって」と声をかけ、スペースを作ろうとしていました。

学童クラブの子ども達が並ぶ際は、高学年男子が、誰に言われるでもなく1年生から順に並ばせ、最後に自分が1番後ろに並んでいました。



「さようなら」をして、各地区が動き始めると、ある地区の先頭にいた高学年女子は、同じ地区の高学年女子に声をかけ先頭と1番後ろで見守りながら自分の地区の子ども達を帰そうとしていました。こうした様々な姿に驚き、そして、『主体性』の育ちを感じました。

『主体性』とは、自分で考えて行動することです。変化の激しいこれからの社会のなかで、自分らしく生きていくためには、『主体性』が必要です。子ども達に見られた姿を、とても頼もしく思いました。



学年を越えて仲よく



1年生の教室の前には、外に出て遊べるテラスがあります。そこに集まる子どもの数が、日に日に増えていきます。6年生が1年生の教室を訪れる光景は、どの学校でも目にしますが、北山小では、様々な学年の児童が訪れています。“遊んであげる”ではなく、自分たちも夢中で遊んでいます。長縄跳びを回してあげる、ではなく、時には1年生が回しながら、みんなで遊んでいます。ちゃんとフォローもしていて、うまく縄を回せなくても、その姿をか

ばっています。上の学年の子は、ちゃんと並ぶ列の交通整理をしています。学年の枠を越えて仲よく遊べるのは、北山小の子ども達の良さだと感じました。

ゴールデンウィーク中の交通安全

バイパスの開通で交通量が減ったとはいえ、大型連休中は、県内外からの観光客が増えます。道路状況や運転に慣れていない車両も多いため、各ご家庭でも、道路の歩行や横断、自転車乗りについて、お話ししてもらえたらと思います。

- 道路を横断する際は、前後左右の確認を行い、決して飛び出しをしない。
- 自転車に乗る際はヘルメットを必ずかぶる。

